

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2022 -13	2022/1/26	our best wasn't Ukraine: a Crisis 28-years in the Making	我々はベストではなかった ウクライナ:28年目の危機	USNI News 2022/1/26	 USNI ブログに投稿されたウクライナ情勢への論説です。 CDRSalamander は匿名ブロガーの退役海軍中佐で、いつもユニークな論評を発信しています。	岩崎洋一
2022 -14	2022/2/1	Report to Congress on Constellation- class Frigate Program (FFG-62)	コンステレーション級フリゲート (FFG-62)プログラムに関する議会 報告	USNI News 2022/2/1	 米海軍のFFG プログラムに関する議会報告です。 SPY-6 を装備しているとはいえ、結構な単価(1隻あたり、武器を含め1,500億 円相当)なので驚きです。	岩崎洋一
2022 -15	2022/1/29	The F-35C's Radar-Absorbent Skin Is Looking Pretty Rough After Months At Sea.	F-35Cのレーダー吸収表面は数か 月間の海上運用で極めて汚れが目 立つ。	WARZONE 2022/1/29	 空母Carl Vinsonに艦載して運用が始まった米海軍F-35Cですが、海上での運用 が始まって数か月で機体表面のレーダー吸収コーティングに錆のような汚れが 浮き出るようになりました。海上での環境(海水、湿度、日照など)の影響が現在 は特定できていませんが、我が海自でも今後DDHにおけるF-35B運用が始まる と同じ問題を抱えそうです。	佐々木司
2022 -16	2022/2/3	MCPON Smith Under Investigation for Allegations of Misconduct	スミス海軍最先任上級兵曹長 (MCPON)が不正行為の疑いで調 査中	USNI News 2022/2/3	 米海軍の最先任上級兵曹長(MCPON: Master Chief Petty Officer of the U.S. Navy)が不正行為の疑いで観察本部から調査を受けているという話です。前任 者の疑惑に比べれば、たいしたことはないということです。こういう記事が部内紙 とはいえ写真付きで出ると驚くと同時に、米軍内の規律の乱れ(告発した方も 含め)も気になります。	岩崎洋一
2022 -17	2022/2/1	Modern Vehicles Present Unique Threats and Vulnerabilities to the Military	最新の車は軍に独特の脅威と脆弱 性をもたらす	February 2022 Proceedings	 近未来を予測する(あるいはもう既に始まっているかもしれない)、危険な話で す。 最近、新車を買った人は要注意。USNI プロシーディングス誌2月号から。	岩崎洋一
2022 -18	2022/2/7	Navy Investigating Leaked Footage of F-35C Lightning II Ramp Strike	海軍はF-35C ライトニングII のラン プストライク(艦上衝突)の流出につ いて調査中	USNI News 2022/2/7	 先日のF-35C のランプストライク(艦上衝突)の映像が不正流出して、海軍は調 査を始めています。	岩崎洋一
2022 -19	2022/2/7	Project to dismantle ex-Royal Navy nuclear submarines inches forward	英海軍の原子力潜水艦を解体する プロジェクトが進行中	NAVY LOOKOUT 2022/2/7	  英海軍の除籍原子力潜水艦の解体プロジェクトの進捗状況に関する記事です。 昨年、豪州の決定があるまでは、英国は米国が原子力潜水艦技術の移転を許 した、唯一の国家でした。英国の用途廃止後の原潜の処理法は、導入当初は海 洋投棄を計画しており、現在実施している方法を想定してはいませんでした。こ れは英国のみ、また原潜だけの問題ではありませんが、安全、衛生、環境など への規制は、時が経つにつれて、厳しくなり得るという教訓を与えてしてくれ ます。このような視点は、新分野に取り組むときは、必ず留意すべき点と考え ます。今日無規制なら、将来も問題ないだろうとするのは、大きな負の遺産を 生む危険性があることを示しています。原潜廃棄プロセスに伴い、英国は現在 大きな負担を強いられています。一方で、日頃窺い知ることが難しい、原潜 廃棄の一つの方法を、本記事から知ることができます。用途廃止後の廃棄に、 大きな予算投入が必要な装備品を導入する場合は、その費用推定をできるだけ 正確に実施し、横断的に予算科目等を再検討のうえ、必要予算を適切に確保 していくことを忘れてはならないこと学びました。	本山泰之

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2022 -20	2022/2/14	VIDEO: First New Navy Hovercrafts Deliver to Fleet Unit After Delays, Cost Increases	ビデオ:海軍の新型ホバークラフトが遅延とコスト増の末に艦隊に初めて引渡される	USNI News 2022/2/14	 新型のLCAC-100 級が初めて引き渡されたというニュースです。推進用ファンを動かすエンジンと連結ギアの再設計に苦しんで、3 年遅れになったということです。研究開発費を入れて、1 艇当たり6,370 万ドル(2011 年度換算)に価格が上昇しています。	岩崎洋一
2022 -21	2022/1/	Stop the Uniform Madness: A Road Map for a Logical Seabag	ユニフォームの狂気を止める:論理的な制服へのロードマップ	Proceedings 2022/1	 米海軍の制服について整理統合する改正案を提言しています。現在、米海軍はメス・ドレスや作業服を入れて8 種類くらいあります。半袖の白制服を廃止せよと言っています。プロシーディングス誌1 月号から。 参考:米海軍のユニフォーム・レギュレーション https://www.mynavyhr.navy.mil/References/US-Navy-Uniforms/Uniform-Regulations/	岩崎洋一
2022 -22	2022/2/17	UPDATED: Four Chiefs, Ensign Facing Charges Over Release of USS Carl Vinson F-35C Crash Video	最新情報:「カール・ビンソン」のF-35C 事故映像の漏洩で下士官4 人と少尉が告発された	USNI News 2022/2/17	 F-35C 着艦事故で、艦内TV(パイロット着艦支援テレビ:PLAT)を携帯で盗撮して流出させた罪で、下士官3名と少尉が告訴されました。	岩崎洋一
2022 -23	2022/2/18	PACFLEET CO Paparo: U.S., Japan Joint Naval Operations Key to Pacific Security	米太平洋艦隊パパーロ司令官:日米の共同作戦(Joint Naval Operation)は太平洋の安全保障の鍵になる	USNI News 2022/2/18	 好むと好まざるとにかかわらず、米海軍は海上自衛隊とJTF(統合任務部隊)を組んでいます。	岩崎洋一
2022 -24	2022/2/16	CNO Gilday Taking a More 'Realistic' Approach to Unmanned Systems in the Fleet	CNO ギルデイは艦隊の無人システムに対して「現実的」なアプローチをとる	USNI News 2022/2/16	 米海軍は、中型・大型の無人ビークルは有人艦といっしょに作戦させて、武器使用の最終判断は人間が行うことを考えていて、その実現は2030 年代までかかるということです。 一方、小型無人ビークルについては、開発を加速し、5 年以内にどんな艦にでも搭載して運用できるシステムにし、それらにISR能力をつければ中型無人ビークルは数を減らせると考えているようです。現在、小型無人ビークルに対して、既存のネットワーク・システムで情報をやり取りできるソフトウェア定義システム(software-defined system)を開発して、2023 年初めに戦闘群でテストをする計画ということです。	岩崎洋一
2022 -25	2021/12/9	Navy Aegis Ballistic Missile Defense (BMD) Program: Background and Issues for Congress	海軍のイージス弾道ミサイル防衛(BMD)プログラム:その背景と議会への問題提起	米国議会調査局 https://crsreports.congress.gov/RL33745	米海軍のイージス弾道ミサイル防衛(BMD)プログラム(以下、イージスBMD プログラムという)は、ミサイル防衛局(MDA)と海軍によって計画され、海軍のイージス巡洋艦及びイージス駆逐艦にBMD オペレーションを遂行する能力を与えるものである。イージス艦は、イランなどからの弾道ミサイル攻撃から欧州を守るためにヨーロッパ海域で、また、北朝鮮やイランなどからの弾道ミサイル攻撃から地域を守るために西太平洋やペルシャ湾で運用されている。MDA の2022 年度予算案では、「2022 年度末までに整備支援を必要とするBMD 対応艦は合計48 隻となる」とされている。イージスBMD プログラムは、ほとんどが MDA の予算を通して資金供給される。海軍の予算は、BMD 関連の事業に追加予算を提供している。MDA の2021 年度予算案では、ポーランドとルーマニアの2 つのイージス・アショアのための予算を含む、イージスBMD事業のための調達と研究開発予算として合計16 億4,790 万ドル(およそ16 億ドル)を要求している。MDA の予算には、イージスBMD プログラムの運用・維持費(O&M)及び軍事施設費(MilCon)の予算も含まれている。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2022 -26	2021/6/1	Timely Actions Needed to Improve Planning and Develop Capabilities for Battle Damage Repair	戦闘被害修理のために、適宜適切な計画立案能力と修理能力の向上の必要性	GAO Report to Congressional Committees 2021/6	 <p>2021年6月のGAO報告です。大国間戦闘が想定される時代になり、甚大な戦闘被害を受けた艦船の修理対応について、現状の定期維持整備のみの造船所修理能力で対応可能なのか、修理に対する指揮系統を明確に組織的な改善等を求めています。</p>	清水隆
2022 -27	2022/2/24	Russian Navy Masses 16 Warships Near Syria	ロシア海軍がシリア近海に16隻の軍艦を集結	USNI News 2022/2/24	 <p>地中海方面のロシア艦隊の動きです。太平洋艦隊からもスラバ級が参加していました。</p>	岩崎洋一
2022 -28	2022/2/16	the last picture show The Last Cruise of the Giants	最後の雄姿 巨人の最終クルーズ	2022/2/16	 <p>元海軍中佐によるロシア海軍へのエールです。</p>	岩崎洋一